

千葉県医療審議会 令和3年度第1回地域保健医療部会 開催結果

1 日時 令和3年11月8日（月） 午後6時から午後6時40分まで

2 開催方法 オンライン開催

3 出席委員

（委員：総数21名中18名出席）

入江委員、金江委員、今井委員、大野委員、大河原委員、杉浦委員、木村委員、
亀田委員、佐藤委員、谷上委員、須田委員、米山委員、合江委員、五十嵐委員、
小路委員、寺口委員、諏訪委員、藤澤委員

（順不同）

（専門委員：総数3名中3名出席）

関根専門委員、佐藤専門委員、平山専門委員

（順不同）

4 会議次第

（1）開会

（2）健康福祉部保健医療担当部長挨拶

（3）議事

千葉県保健医療計画の中間見直し（試案）について

（4）報告事項

地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について
病床削減支援給付金の申請について

（5）閉会

5 議事概要

千葉県保健医療計画の中間見直し（試案）について

事務局から資料1、資料2により説明し、試案についてパブリックコメントや関係
機関への意見照会を実施した後、千葉県医療審議会総会に提出することが了承された。

○ 質疑応答要旨

（部会員）

資料2、18ページにある「在宅患者訪問診療件数」という指標は件数で示され
ているが、その下の「訪問看護ステーションの利用者数」は人数になっているのは
なぜか。

（事務局）

「訪問看護ステーション利用者数」については国の指針を踏まえて、重要な指標
ということで利用者数として掲載している。いずれの指標についても、国の指針

の示し方や、実際に県で把握可能なデータを踏まえた上で現状のような指標の立て方になっている。

(部会員)

資料2、2ページの「療養病床及び一般病床に係る基準病床数等」という表について、基準病床より既存病床が多い医療圏に対してはどのような対策をとる予定か。

(事務局)

基準病床数を既に満たしている医療圏においては追加的な整備の予定はない。ただし、その中でも機能別の必要病床数を満たさない医療圏については、圏域の地域医療構想調整会議での協議や、県の支援策を活用いただき、地域の医療ニーズに合った病床機能の転換が図られるように働きかけていく。

(部会員)

不足する病床数を満たすためには、どのような施策が考えられるのか。

(事務局)

不足病床については、整備可能な事業者を公募し、応募があった事業者から整備計画を各医療圏の地域医療構想調整会議で説明いただいたうえで、医療審議会の意見も伺い、配分作業を進めていく。

6 報告事項

(1) 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議について

○ 事務局説明

資料5により事務局から説明

○ 質疑応答要旨

(部会員)

東千葉メディカルセンターについては、地域医療構想には含まれないのか。

(事務局)

一般・療養病床を持つ全ての病院、有床診療所については、東千葉メディカルセンターも含め、今後どのような方針で病院を運営していくのか等について、各圏域の地域医療構想調整会議で示していただいている。

(部会員)

東千葉メディカルセンターでは、あまり病床が利用されていないという話を聞いた。急性期医療にどの程度貢献しているのかといった評価は、地域医療構想調整会議でされないのか。

(部会長)

医師や看護師がなかなか集まらないという現状がある。

(2) 病床削減支援給付金の申請について

○ 事務局説明

資料6により事務局から説明（意見・質問等なし）

7 その他

(部会員)

病床確保と新興感染症対策との兼ね合いについてはどのように考えているのか。

(部会長)

今回の新型コロナウイルス感染症については、ほとんど経験したことのない事態だった。国、県ともに、次に同様の感染症が発生した場合にすぐに迎え撃てるように、様々な面で今回の経験を活かし、準備を進めている。

8 閉会 午後6時40分